

《令和5年度 乳児健診アンケートに対する現状と課題》

保健医療に関すること

①インフルエンザワクチンは無償化してほしいです。家族分となると負担が大きいのので 2,000 円の補助では行こうとはなかなか思いきれません。

⇒小児のインフルエンザワクチンは任意接種ですが、令和5年度からこどものインフルエンザワクチン接種費用の助成を開始しました。インフルエンザワクチンは定期接種の対象者である 65 歳以上の方にも自己負担をいただいている現状です。無償化することにより接種希望者が急増した場合に、ワクチン不足が生じる可能性があるため、一部自己負担をいただいています。個人予防として、接種するかどうかご判断ください。

保育に関すること

②夫婦で育休を取っていても上の子の環境を考えてくれるような対応があったら助かるなど思いました。園も退園ではなく、時間を短くても利用させてもらえたり、週何度か通えたり等・・・子育てのしやすい環境を望みます。

⇒保育園等の利用については、保育を必要とする事由に該当するかどうかで判断しているため、ご理解をお願いします。土庄保育園では一時預かり(保育)事業を実施していますので、上記に該当しなくても利用することができます。

遊び場に関すること

③豊島にも公園があったら嬉しい。小さい子が遊べるような遊具やブランコ、滑り台等が欲しい。

④さくら公園のような公園が何か所か欲しい。広いスペースがある所が少ない

⑤真夏や雨の日に子どもが室内で遊べる場所が欲しい。

⇒新たな公園や屋内施設を整備することは難しいため、ご理解をお願いします。

児童館や子育て支援室のほか、図書館や体育館、グラウンドなど、既存の社会教育施設も活用していただければと思います。現在、子どもの遊び場づくりの一環として、刈崎グラウンドの無料開放を行っています。開放時間は 13 時から 17 時までとなっていますので、是非ご利用ください。

経済面に関すること

⑥同じ小豆島なのに小豆島町と支援に差がありすぎる(給食費、妊娠届10万円など)

⇒・多子世帯の経済的負担を軽減するため、今年1月から、同時に扶養されている第 3 子以降の小中学生について給食費を無償化する制度を創設しました。また、令和6年4月より、出産・子育て応援ギフトに加え、出産費用などの負担軽減を目的とした町独自の出産応援給付金を開始となっています。

・その他、今後の支援内容については、担当課で検討しております。新規事業等については、随時広報等でお知らせいたします。

その他

⑦子どものイベントで公民館へ行った際、授乳やおむつ替えに困りました。気軽に外出しにくいです。

⑧夏休みなどの長期休暇や放課後の居場所について、選択肢が少ないと感じます。実際の子育て世代の意見を反映させてほしいです。

⇒ おむつ交換ベットの有する公民館等の施設では、ピクトサインの表示など利便性の向上に努めます。また、イベント時には、授乳室がない公民館等においても施設の一角を開放しますのでお声掛けください。放課後児童クラブ、放課後子ども教室などの既存事業については、出来る限り地域のニーズにお応えできるよう、多様な活動を検討します。また、児童館のほか公民館や図書館などの行事も有効にご活用いただければ幸いです。

⑨豊島でも健診が受けられるようにしてほしい

⇒ 乳児健診については、豊島健康センターでも受診ができるようになりました。豊島健康センターで受診を希望される方は、保健センターまでご相談ください。1歳6か月児健診・2歳児歯科健診・3歳児健診については、健診内容等の都合で豊島での実施が困難なため、移動等でご不便おかけしますが、ご協力よろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました

